



浜水高

図書館だより

図書館は探究の場

令和4年度から高等学校で「総合的な探究の時間」が始まります。（本校では『課題研究』で代替となります。）次の文章は「総合的な探究の時間」の目的です。

生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理、分析を進める能力を高めること。

今は情報の収集や整理はインターネットを使うことが多いですが、責任の所在のわからない情報が少なからずあります。それに対して図書館の本もすべてが良書ばかりとは限りませんが信頼できる情報は多いのではないかと思います。

「総合的な探究の時間」で心配なのは間違った情報を集めてしまって間違ったことを学んでしまうことです。インターネットとともに図書館を利用して正しい情報を基に探究を進めていただきたいです。

郷土を探究してみよう

探究の一例として島根県で古くから行われていた「たたら製鉄」を挙げてみたいと思います。たたら製鉄といえば東部の出雲地方が全国的にも有名ですが、西部の石見地方でも鹿足郡の一部を除く全域で江戸時代から明治時代にかけて、たたら製鉄が盛んでした。島根県で最も古い製鉄遺跡は邑南町の瑞穂インター近くにあります。

たたら製鉄の研究には、歴史（考古学）、地理だけでなく、化学、物理学、地質学、土木工学、造船などの分野がかかわっている他、文献を読み解く力も必要です。たたら製鉄のことを研究していくうちに廻船についても出てくるのが興味深いです。たたら製鉄の原料の重い砂鉄を遠くから運んできたり、製鉄によってできた重い鉄を大坂などに運ぶのは陸上交通では困難で、海運を利用しなければならなかったからです。このように水産高校で学んでいることと郷土の歴史を結びつけて考えていくのは興味深いです。



ニュースを読む

今回はオリンピック・パラリンピックの話題ばかりになりました。

東京五輪閉幕…コロナ禍、延期・無観客

(2021.8.9 読売)

新型コロナウイルスの影響で史上初の1年延期となった第32回夏季五輪東京大会は8日、閉幕した。閉会式は東京・国立競技場で行われ、17日間の会期を締めくくった。五輪旗は東京都の小池百合子知事から国際オリンピック委員会（IOC）のトーマス・バッハ会長を経て次回2024年大会を開くパリのアンヌ・イダルゴ市長に引き継がれた。第16回夏季パラリンピック東京大会は8月24日に開幕する。

今大会は、205か国・地域と難民選手団から約1万1000人の選手が参加し、史上最多の33競技339種目で力と技を競った。北朝鮮は不参加。日本選手は過去最多の583人で、獲得した金メダル27個、そのうち女子種目は14個でいずれも歴代最多。銀14個と銅17個を加えた総数58個も、夏冬を通じて日本の最多記録となった。

パラ団長「選手が輝いた13日間だった」、団旗を返還

(2021.9.6 読売)

東京パラリンピック閉幕から一夜明けた6日、日本選手団が記者会見を行い、河合純一団長は「1年延期という前例のない中、苦しい調整や準備を経て選手が輝いた13日間だった。見えない壁や限界を一つ超えることが出来た」と、金13個を含むメダル51個を獲得した躍進を総括した。河合氏は「聖火は静かに消えたが、選手のパフォーマンスやメッセージは国民の心に残る」とし、パラスポーツのさらなる普及と発展を願った。

東京五輪入賞の三浦選手たたえる懸垂幕 浜田市

(2021.8.4 山陰中央)

東京五輪の陸上男子3000メートル障害で、7位入賞を果たした三浦龍司選手（19）＝順大、浜田東中＝京都・洛南高＝の活躍をたたえる懸垂幕が3日、浜田市殿町の浜田商工会議所に掲出された。

幅1メートル、長さ7・5メートルで、日本の国旗をイメージした赤と白を基調に「おめでとう！！ 7位入賞 三浦龍司選手」と大きく書いた。秋ごろまで掲げる。

市出身選手の活躍を通して地域を盛り上げ、新型コロナウイルス禍の影響を受ける市民を元気づけようと浜田商工会議所が企画。

樫山（はげやま）陽介会頭（72）は「浜田出身の選手の活躍は非常にうれしい」と笑顔を見せた。

三浦選手は2日の決勝に出場。陸上男子3000メートル障害での入賞は日本勢初となった。